

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 佐藤、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3386

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第2週（令和4年1月10日～令和4年1月16日）

福岡県感染症情報センター

■ 全数把握疾患報告


病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	5	15	168	168
腸管出血性大腸菌感染症	3	3	15	15
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	3	20	20
急性脳炎	1	1	3	3
梅毒	1	4	93	93

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	1	0.01	-	50	0.01
RSウイルス感染症	150	1.25	0.94	882	0.28
咽頭結膜熱	32	0.27	0.82	773	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	168	1.40	1.42	1,222	0.39
感染性胃腸炎	1,162	9.68	1.55	14,564	4.66
水痘	13	0.11	0.54	440	0.14
手足口病	27	0.23	1.00	1,168	0.37
伝染性紅斑	2	0.02	-	30	0.01
突発性発しん	63	0.53	1.24	817	0.26
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.00	186	0.06
流行性耳下腺炎	5	0.04	0.71	68	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	3	0.00
流行性角結膜炎	3	0.12	1.50	128	0.19
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	5	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	3	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	3	0.01

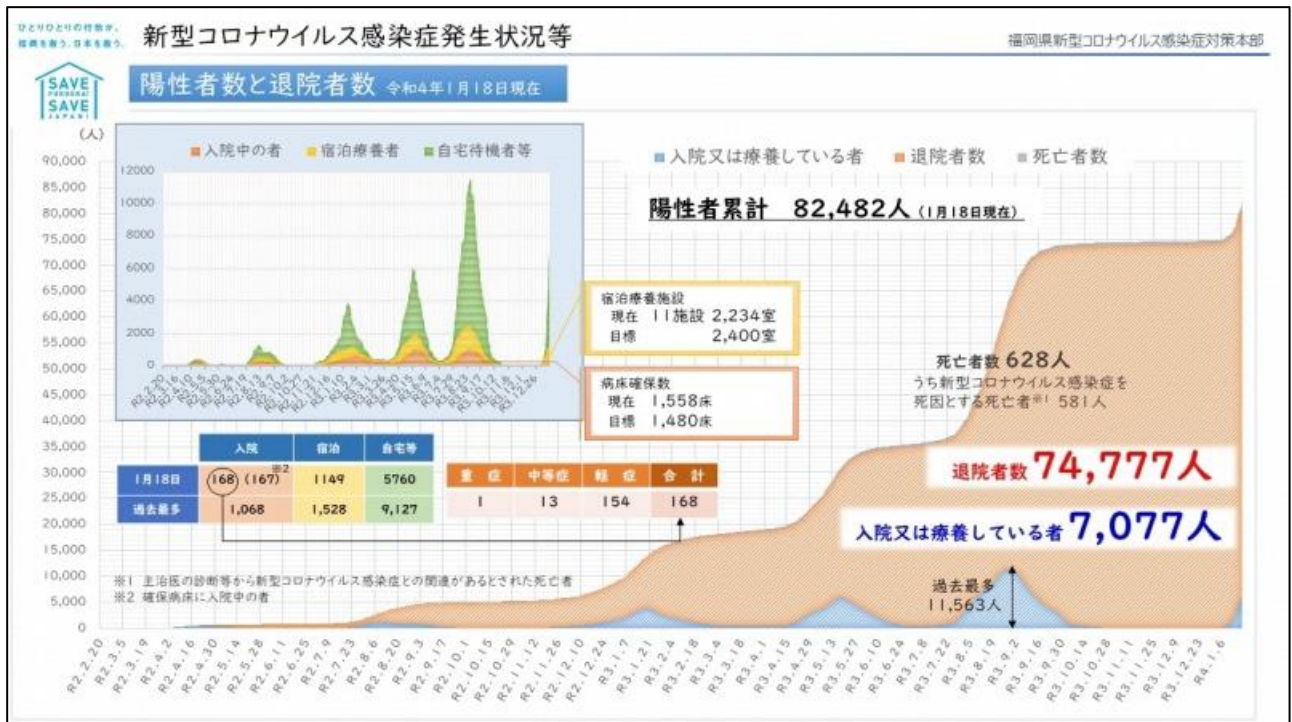
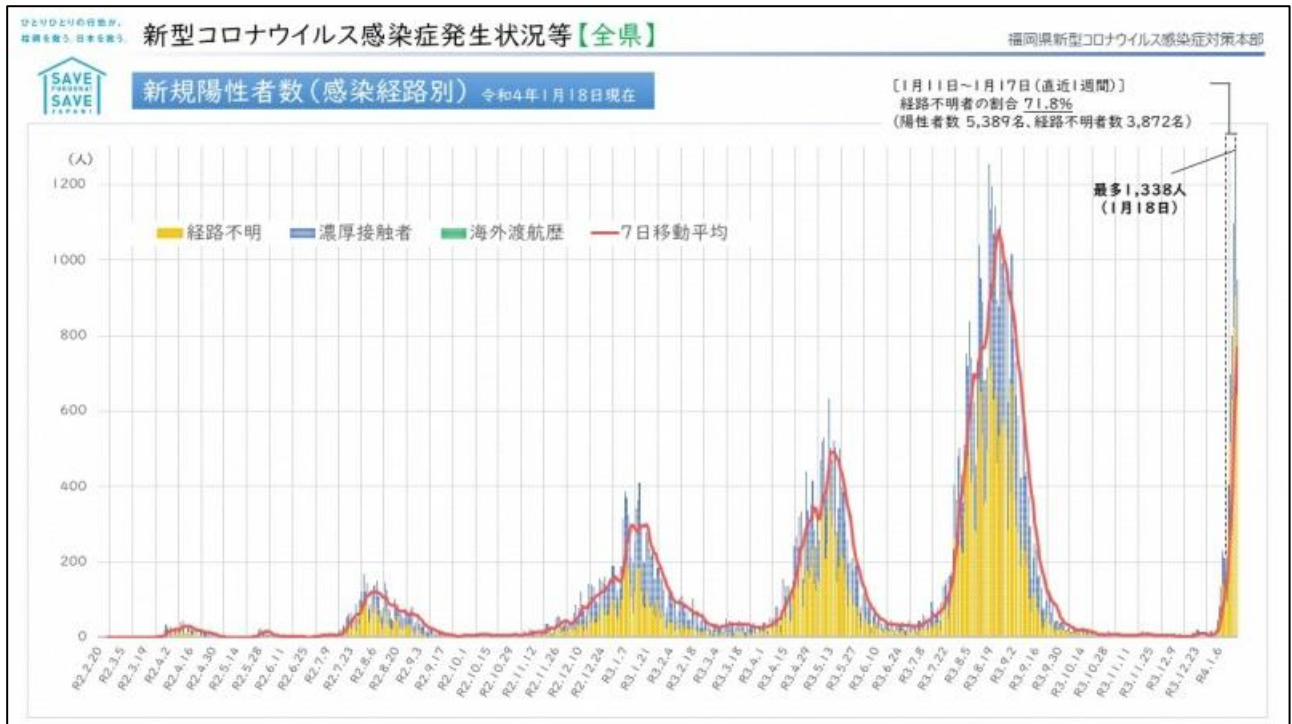
 : 警報レベル

 : 注意レベル

■ コメント

- ・ 感染性胃腸炎の定点あたり報告数が全国（前週）に比べ多くなっています。感染性胃腸炎の主な症状はおう吐と下痢で、発熱を伴うこともあります。この時期は、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が急増し、集団発生例の多くなる傾向があります。感染予防のためには手洗いが有効です。トイレの後、調理前、食事の前は必ず流水と石けんで手を洗いましょう。感染した人の便や吐物は適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。また、加熱が必要な食品は中心部まで十分に加熱して食べ、調理に使用した器具等は十分に洗浄、消毒しましょう。
- ・ 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>